

環境保全



いがらしやすひろ
五十嵐康博議員

自然の恵みへの感謝を忘れないように…

Q 太陽光発電は地球温暖化の防止に資するものであり、また我が国の化石燃料への依存率を勘案すれば、主な電力源の一翼を担うと期待されている。一方、東日本大震災をきっかけに急速に普及したことに伴い、地域でトラブルになる事例も多く、災害の懸念、景観などに影響を及ぼす恐れなど、多くの不安の声が寄せられている。今後メガソーラー建設の動きは継続すると思うか。

A 環境農林課長 国策において再生可能エネルギーの施設は拡大していきませんが、一方、売電価格の低下や広大な土地取得の困難さで、当町においては、林地開発を伴う大規模な開発は継続しないと考えています。

森林資源の持続可能な活用をみんなで考えていく必要があると感じます。



不安と反対の声への対応は

答弁 適正な実施に向け意見をしていく

Q 町民の不安や反対の声に対する考えは。

A 環境農林課長 町にはガイドラインがありますが、さらに現在条例の制定について検討をしています。発電事業は、環境に配慮し地域との共生を図ることが重要です。地域環境及び住民意識を調和させた適正な実施に向け、事業者には町の意見を述べていきます。

町の景観



たなかてるこ
田中照子議員

町中は県の歴史の道景観モデル地区です

Q 景観モデル地区の選定から3年。今後の取組と方向性は。

A 都市政策課長 取組を継続します。また、和紙や地酒、絹、木工業など地場産業に関わる建築物の価値や魅力を歴史的背景とともに発信していきます。

Q 景観モデル地区において、地域や行政、まちづくり団体が構成員となる研究会の発足を。

A 都市政策課長 研究会は町民の意識を高めるためにも重要です。町も支援していきます。

Q 和紙体験学習センターの方向性は。

A にぎわい創出課長 産業施設としての整備・活用を基軸に据え、国の登録有形文化財への制度活用も検討します。

Q 全国で3件の裏絹の精練所

県や大学と連携し、学生が町づくり等を学ぶ場とし実施された町歩き。



景観モデル地区の今後は

答弁 県と協議し、今後も継続していく

が当町に2件ある。支援体制は、**A** にぎわい創出課長 伝統的な産業は、他業種との連携が難しいですが、絹・和紙等素材を産む技術、建具・襖紙の加工技術、「ものづくり」を支えてきた技術者同士が連携することで必ずや新しい価値が生まれるものと考えます。今後も、事業者に寄り添い支援をしていきます。

公共工事



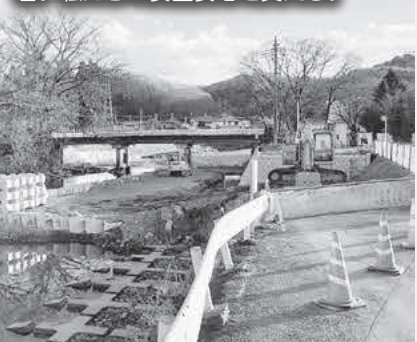
やまぐちかつし
山口勝士議員

Q 災害時の対応、大雪時の除雪など、町内建設業者の育成は、安全・安心の住民生活に欠かせない。そうした点から、公共事業は重要であり、計画的に建設業者に提供されることが重要である。町はどう捉え、生かそうとしているか。

A 政策推進課長 公共工事を計画的に発注することは、町内建設業者の雇用の創出、地域経済の活性化にも重要です。今後必要な公共工事の、建設業者への発注機会を確保します。

Q 国の「公共工事品質確法」の「発注関係事務の運用に関する指針」の改正は、建設業者を守るために重要である。町はどう捉え生かそうとしているのか。

災害復旧に大切な役割を果たす建設業者。私たちの安全安心を支える。



町内建設業者の育成を

答弁 発注者としての責務を果たしていく

A 政策推進課長 今回の改正で、公共工事の品質を確保した上で、災害復旧工事の迅速かつ円滑な実施が可能になりました。また働き方改革への対応が規定され、町は現場労働者の処遇改善や中長期的な担い手確保に配慮が求められます。町は発注者としての責務を果たし、公共工事の品質確保を図っていきます。

住民参加



しまざきたかお
島崎隆夫議員

Q 当町が特徴ある地域となるために必要なものは。

A 政策推進課長 地域のことをよく知る住民と町の魅力を理解する地域外の方々为主体となり活動することだと思います。

Q 特徴を生かすために努力し実を結んだ地域は全国に多く存在する。川越市、長野県小布施町、愛媛県内子町など挙げれば切りはないが、手本としては。

A 政策推進課長 お示しの地域は、古くから地域資源を有効活用し、住民との協働で成功していることを認識しています。各地の成功事例を参考にまちづくりを進めていきます。

地域おこしに必要なものは

答弁 真に町を思う人が主体となること

Q 様々な資源があるが、当町最大の特徴は山と平地がほぼ半分ずつあるということ。里山が最大の売りではないか。政策の柱とすることを考えては。

A 政策推進課長 里山は日本の原風景であり、SDGs(エスディーズ)目標達成のため第5次総合振興計画の後期基本計画でも活用について考えていきます。

地域に合ったまちづくりを考えたとき、当町が売りにできるのは里山だ。



SDGs…国連サミットで採択された持続可能な開発目標。「誰一人取り残さない」ことを誓っている。

外務省ホームページ「SDGsとは?」

公共工事品質確法／発注関係事務の運用に関する指針…価格のみで落札者を決める仕組みを見直し、多様な入札・契約制度の導入など公共工事の品質確保を促進するための法律。その法律に基づき、事務を適切・効率的に運用するための指針。

とにかく体を動かしています。
フラダンスをしたり!
(M・Jさん 65歳)



P.11からのつづきです!